

平成 29 年度 美濃加茂市総合戦略推進アドバイザー懇談会（第 2 回）会議録

日時	平成 30 年 3 月 20 日(火) 10 時 00 分～12 時 00 分	
場所	第 3 議会委員会室	
委員	出席者 (敬称略)	【産】(株)フジイ代表取締役 金森 薫 【官】岐阜県女性の活躍支援センター長 原 永子 【学】中部学院大学短期大学部幼児教育学科教授 杉山 祐子 【金】東濃信用金庫美濃加茂支店長 渡辺 洋一 人材開発課 横山 幸子 【労】ハローワーク美濃加茂所長 早崎 章
美濃加茂市	美濃加茂市長 伊藤 誠一 美濃加茂市経営企画部 部長：酒向 洋 企画課 課長：佐藤 係長：井戸・山本 成栗、中尾、庄司、小畑	

1 開会

2 美濃加茂市長 あいさつ

まち・ひと・しごと創生総合戦略「カミーノ」は今年で 3 年目を迎えている。カミーノの策定に携わったこともあり、これからも「カミーノ」を大切にし、引き続き、各分野の懇談会委員のみなさんから専門的な助言をいただきながら、進めていきたい。来年度は女性活躍支援センターの開設をはかるため、女性活躍の推進にあたってもみなさんの意見をお聞かせいただき、充実したものにしていきたい。

3 委員紹介と委員委嘱

懇談会委員と美濃加茂市の出席者紹介

4 カミーノ推進プロジェクトについて【資料 1】

5 みのかも女性の活躍支援センターについて【資料 2】

事務局から資料に基づき概要説明

6 意見交換

【委員から出された主な意見】

- ・カミーノ推進プロジェクトなど、継続していくことが大切である。
- ・県でも開催しているセミナー等を上手に利用してほしい。
- ・女性活躍支援センターなど、女性があつまる場ができることはすごく大切である。コンパクトな場所の特徴をいかすべき。
- ・ワンストップでの支援ができると良い。
- ・どれだけ宣伝ができるか。周知が大事である。→インパクトあるものは衝撃を与えるが継続性

はない。

- ・子育てのパワーを活かして働くことへの企業理解が必要。
- ・女性が輝くことは自分を認めてもらうこと（働く意欲や生きがいにつながる）
- ・保育士の離職率が高いことは社会の課題。社会に出る前に接点をもつことも大切。
- ・女性であることを忘れない、女性であることに甘えない、女性であることを活かしていくことを大切にしていくこと。
- ・職場内に女性が集える時間や場所を提供、いろんな相談ができてニーズ高い。
- ・PR、周知を徹底して行うこと。
- ・入りやすい雰囲気、気軽に立ち寄れるようにハードルを下げて応じること。
- ・徐々にではなく、いっきに力を入れて告知を行うほうが効果的。
- ・女性の視点で広報戦略を考えることもいい。SNSやインスタなどを活用。若い人たちにもきいてみること。
- ・女性の想いと企業のマッチングができると魅力的。繋ぐことが大切
- ・高齢者向け就職フェアなど・・・リレー形式、企業からのアプローチが大切
- ・多機能がポイント、だれでも入りやすい雰囲気をつくること。
- ・想いとのマッチングができた人は、企業などでも輝いている
- ・ジョブフェアカミーノらしさを取り入れる。

（例）ジョブフェア内での企業マッチング→職場見学→内定

- ・大学生たちとの交流→学生たちに働く現実を見せて欲しい。
- ・エクセレント企業認定→カミーノ版をつくるなどして、企業単体でがんばるのではなく、自治体でもりあがるほうが大切である。

【市長意見】

- ・女性活躍支援センターは宣伝周知、PRに力を入れていきたい。SNSなどを活用して情報を発信し、知る壁を越えて利用していただけるように進めたい。
- ・センターは多機能であることがポイント。ハードルを低くして、多くの女性にふらっと立ち寄ってもらえるように、女性が輝くための入口としての機能を発揮していきたい。

6 地方創生推進交付金事業報告【資料3】

- ・平成28年度から平成29年度までの事業の途中経過を報告
- ・平成30年度に事業評価を行いたい。
- ・平成30年度はカミーノ推進事業として申請中。